No.25	踏み出し		
氏名	西　朋里	情報理工学研究科	M2

１．出願時のテーマ･目標を具体的に記述してください。

HumanBeatboxの大会を開催し、若手のプレイヤーが活躍できる場を作る。

２．上述のテーマ･目標を実現するために実施した計画を具体的に記述してください。

オンライン上で小規模なHumanBeatboxの大会を7度実施し、年末には規模の大きい大会を実施した。また、HumanBeatboxコミュニティの拡大に向けてオンライン上での交流会を実施した。

５．今回（今年度）の取り組みについて、今後の活動展開と展望を記述してください。

今後の取り組みとしてコロナの影響を見ながらオンライン上で交流会を実施し、ある程度落ち着いたところで現場での大会実施を目指す。

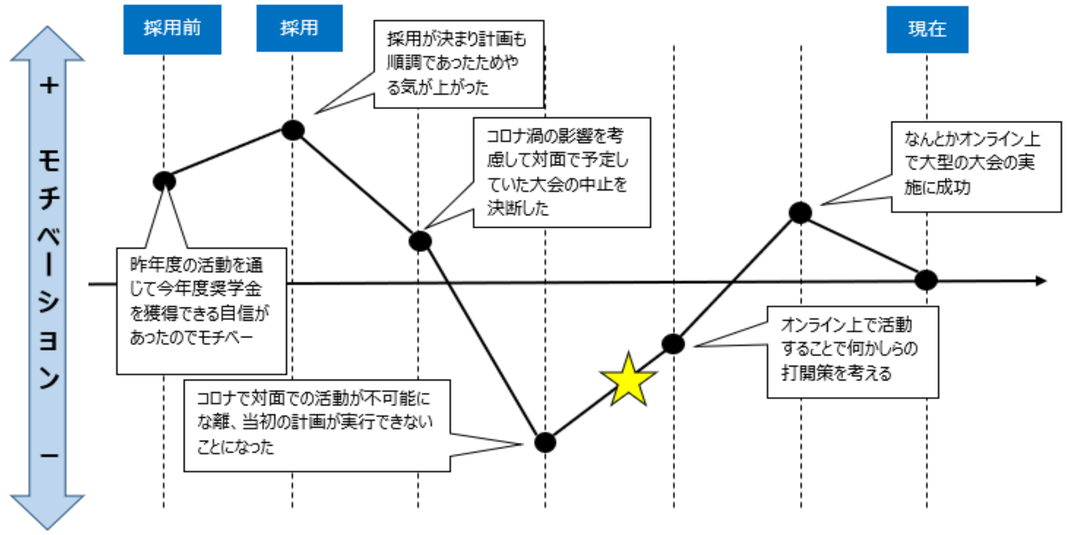
６．今回（今年度）の取り組みは、今後の学びや進路にどのように影響しますか。

進路がすでに決まっているため影響はなし。

７．今回（今年度）の活動が周囲に与えた影響（社会･周囲）への貢献･還元の点で記述してください。

今回の活動において最も社会貢献になったのは今までHumanBeatboxの大会の参加経験がない若手の人や、HumanBeatboxコミュニティに触れてこなかった人が新たに参加してくれたことである考える。また、オンライン上で開催することで遠方に住んでいて普段大会に参加できない人たちに参加の機会を促せたことは大きいと考える。

3．個人の成長の軌跡3-1．取り組みの過程でどのようなことがあったのか、グラフを作成してください.



3-2．グラフで書いた☆（個人がもっとも成長したと思うポイント）では、その過程で学んだこと、気づいたことについて具体的に書いてください。

コロナで対面活動の実施が不可能となったため、当初の計画を大きく修正する必要があった。その際に、周囲の人に相談したり地震で情報収集することによってコロナ渦でもできる活動を計画した。その際に、一人で考え込まずに周りの人に相談しながら自身の考えをブラッシュアップしていくことの重要性に気づいた。

3-3．”今回（今年度）の取り組み”と“正課の学びや取り組み”は、どのような関連や影響（相互作用）がありましたか？

今年度の正課の学びや取り組みが論文執筆であったため、あまり関連や影響は見られなかった。しかし、正課で様々な文献や論文を調査したことが本活動における情報収集に活きていた可能性は考えられる。

4．本奨学金を受給したことで、以下の項目についてどのような影響を与えたか５段階で評価してください。（該当ナンバーに○）
また、併せて評価の理由も書いてください。 評価例：【 1（達成できなかった） ← 3（どちらともいえない） → 5（達成できた） 】

①　目標の達成度	3

＜理由＞ 当初の予定とは異なる形式での大会の実施であったが、最終的に多くの方に参加していただけたので最低限の目標は達成できたと考える。

②　計画の達成度	2

＜理由＞ 計画では年2回大きな大会を開催する予定であったが、実際は1度しか開催できなかったので計画の達成度は低いと考える。

③　取り組みを通じた自己成長	4

＜理由＞ 今回の取り組みを通じて自分の認識不足な点がたくさんあったことに気づいた。

10．今年度の取り組みを通じて最も身についたと思う力について、具体的に記載してください。9の設問で回答した力でも、それ以外でも構いません。

①　身についた力

情報収集･発信力

②　①で記述した力について具体的に説明してください

③　なぜその力を身につけることが出来たのか、成長を手助け･促進させた要因を記載してください

今までとは異なりコロナ渦での活動となったため、感染防止のガイドラインや他の活動の情報をよりたくさん収集し、自身の活動に反映できたと考える。